



高島学園

中学校だより 【第9号】

令和5年 9月 14日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

全校自然体験 ～PTAと地域の支援のもと～

2学期がスタートして二週間が経ちました。6日は全校自然体験でカヤックと防災カレー作成を体験しました。日々の学校での学習を生かして、高島の自然の中で、生徒たちは力いっぱい取り組みました。

カヤックは初めての生徒も多かったのですが、びわこマリンスポーツクラブにお世話になり、近江白浜から鴨川を上り、びわこ沖を漕ぎきり、また、カレー作りでは、保護者の皆さんと地域の方々の支援を受けて、材料を切ったり、火をおこしたりして楽しく防災学習をすることができました。

本校の教育目標は、「確かな学力と豊かな心を身につけ、たくましく未来を切り拓く子どもの育成」です。

保護者と地域の方々の多大な愛情を受けて、教育活動を行い、目標に近づいていきたいと思えます。



文化祭「青春（アオハル）～思い出は一生の宝物～」 ～取り組みには感動の場面が～

文化祭の取組が力強く進んでいます。今年は、各学級で模擬店を開くという計画になっていて、どのクラスもが自分たちでアイデアを出し合っています。周りの人をあてにするのではなく、自分が声をあげ、自分が行動を起こすという生徒の姿を多く見ます。担任の先生からも「うちのクラスの取組を見てください！」という声を聞き、クラスの頑張っている様子が話されています。活気を感じます。

7年の道徳では、合唱の取組について話し合いました（写真）。自分の考えをもちながらも、人の考えを聞いて、班としての考えをまとめていました。お互いを尊重した感動の授業でした。

8年の音楽の授業のこと、メロディをマスターするために練習する傍ら、指揮者と伴奏者が打ち合わせをするかのように、一緒に黙々と取り組んでいるのです。これもまた、感動です。

生徒が、クラスのために、自分ができることを進んでしています。文化祭を通して高中学徒の成長を見ることができます。

しかし、こうやって取り組みを進める中には、壁にぶつかることも必ずあります。いつも言っていますが、これが成長のチャンスです。この困難にどう立ち向かわせるかが最も大切です。私たち大人が慌てず、広く大きく支える気持ちを持ちたいものです。今年のテーマのごとく、子どもたちの青春の思い出が一生の宝となるよう、見守り励ましていきましょう。



第12回CSBA大会「協働活動ってこれやな！」

「今年の自然体験では、誰が先生か生徒かわからないほどでした。」ということかと聞いてみると、「集合では先生の「速くしなさい」などの指示はいっさいなく、生徒の集合が完了するのを待って、簡単な説明で、生徒はすうっと行動に移る、といった流れでした。そこで、私たちは何をしたらよいのか悩んだのですが、それが自分たちがどう動けば良いかを考えるきっかけになったのです。そして、自分たちが考えたからこそ、進んで子どもたちの活動に参加することができたのです。今、これが協働活動なんやと思っています。頼まれてするとかではなくて、自分から活動に参加する、これが、私たちが目指す協働活動なんやと、この体験を通して思いました。」そして、つけ加えられました。「この協働活動が子どもたちの成長につながるなら、私たちはこんなに幸せなことはない。」と。

高島中学校では、指示を受けてではなく、生徒が自ら考えて行動するということを常に大切にしています。特に朝の始まりや、授業の始まりは、このことを大事にしています。学校が大切にしていることの理解がさらに深まり、地域と思いを一緒にして、高島学園コミュニティ・スクールが、さらに進む、記念の大会となりました。



1学期生徒・保護者学校アンケートより

生徒 アンケート項目		あてはまる ほぼ あてはまる	あまりあてはま らない あてはまらない	保護者 アンケート項目	あてはまる ほぼ あてはまる	あまりあては まらない あてはまらない	よく わから ない
1	学校は楽しい	89(%)	11(%)	(1) 子どもは楽しんで 学校に行っている	89	7	4
2	授業はわかりやすい	87	13				
3	やる気をもって授業の課題に取り組んでいる	80	20	(2) 学習の取り組み姿 勢が意欲的になった	56	37	7
4	授業中、先生の話聞いている	95	5				
5	授業中、ほかの人の意見を聞いている	95	5	(3) 子どもは家庭学習 の目標時間を達成してい る	37	62	1
6	授業中、自分の考えを発表している	62	38				
7	ペアやグループ学習は、自分の学習に役立っている と思う	92	8	(4) 子どもは家庭で 手伝い・あいさつをして いる	51	49	0
8	タブレットは学習に役立っている	94	6		89	11	0
9	家庭学習の目標時間(学年×10分)を達成している	50	50	(5) スマホやゲームに ついてルールを守ってい る	59	41	0
10	学級の給食当番、係活動、班の活動に真面目に 取り組んでいる	97	3				
11	清掃活動に意欲的に取り組んでいる	86	14	(6) 部活動は充実して いる	69	22	9
12	家庭や地域、学校であいさつをしている	94	6	(7) 学校だより、メールな どで情報が得られる	86	9	5
13	家庭では時間を守ってスマホやゲームを使っている	72	28	(8) 教職員は質問や相 談したときに適切に対応 している	54	6	40
14	先生たちは生徒の質問や相談に応じてくれる	92	8				
15	道徳の授業で、自分なりに深く考えようとしている	93	7	(9) 子どもは地域の方 に挨拶をしている	73	9	18
16	部活動が充実している	80	20				

「あてはまる、ほぼあてはまる」の回答が合わせて80%を超えることをめざしていますが、下回る項目もあり、学校の取り組みの足りないところを改善しなければなりません。生徒が、「明日も早く学校に行きたい」と思う学校を目指して、教育活動に取り組んでいきます。家庭学習の時間は、半数の生徒に改善が必要です。スマホやゲームの仕方は昨年より改善の傾向ですが、学習時間との関係は大いにありますので、折にふれ時間の使い方を振り返ることが必要です。アンケート結果をもとに家庭での生活について話し合ってください。今後もより良い中学校生活が送れるようにご協力をお願いします。